

令和5年中の交通事故の発生状況等について

令和6年4月
福岡県警察本部
交通部交通企画課

令和5年中の交通事故の発生状況等について

1 交通事故死者数及び重傷者数(平成25年～令和5年)

- 死者数は103人(前年比+28人)で前年に比べ増加
- 重傷者数は681人(前年比-10人)で前年に比べ減少
- 1か月当たりの死者・重傷者数は、65.3人で前年に比べ増加
- 全ての状態別(自動車乗車中・二輪車乗車中・自転車乗用中・歩行中)において、全年齢で増加
- 状態別死者・重傷者は、全年齢、65歳以上ともに「歩行中」が最多

2 歩行中死者数の状況

- 歩行中死者数は43人(前年比+9人)で前年に比べ増加
- 歩行中死者のうち、65歳以上が約8割(76.7%)を占める
- 事故類型別では、65歳未満は「路上横臥」、65歳以上は「横断歩道以外横断中」が多い
- 通行目的別は、65歳未満は「飲食」、65歳以上は「散歩」及び「買物」が多い

3 自転車関連交通事故の状況

- 自転車乗車中死者数は、12人(前年比+7人)で前年比約2倍に増加
- ヘルメット非着用時の致死率は着用時の約1.6倍(令和元年～令和5年)
- 死亡・重傷事故における自転車対歩行者事故の構成率は、前年比4.8倍に増加
- 衝突地点別自転車対歩行者事故の半数が歩道上

4 自動車関連交通事故の状況

- 自動車乗車中死者の約5割がシートベルト非着用
- 自動車乗用中のシートベルト非着用時の致死率は、着用時の約22.8倍
- 携帯電話使用による事故の割合は近年増加傾向

5 高齢運転者による交通死亡事故の状況

- 65歳以上高齢運転者・75歳以上高齢運転者による死亡事故は令和3年以降増加傾向
- 自動車運転者による交通死亡事故の人的要因は全年齢において「安全不確認」の割合が高い

6 二輪車乗車中死者数の状況

- 二輪車乗車中の死者数は前年に比べ増加
- 通行目的別では、自動二輪車、原付自転車ともに「通勤」及び「飲食」が増加
- 車両相互事故における相手当事者の割合は「自動車」が高い
- 事故類型別では「右折対直進」が前年比2倍に増加

7 飲酒運転による交通事故の状況

- 飲酒運転による死亡事故は6件(前年比+3件)で前年比2倍に増加
- 飲酒運転による死亡事故率は、飲酒事故以外の約14.7倍

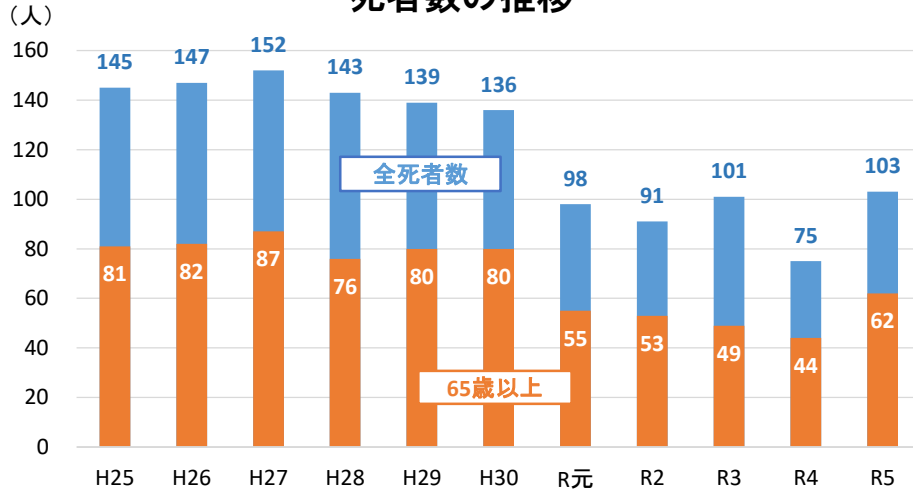
8 特定小型原動機付自転車関連交通事故の状況(令和5年7月以降)

- 福岡県内における発生なし(全国:85件発生)

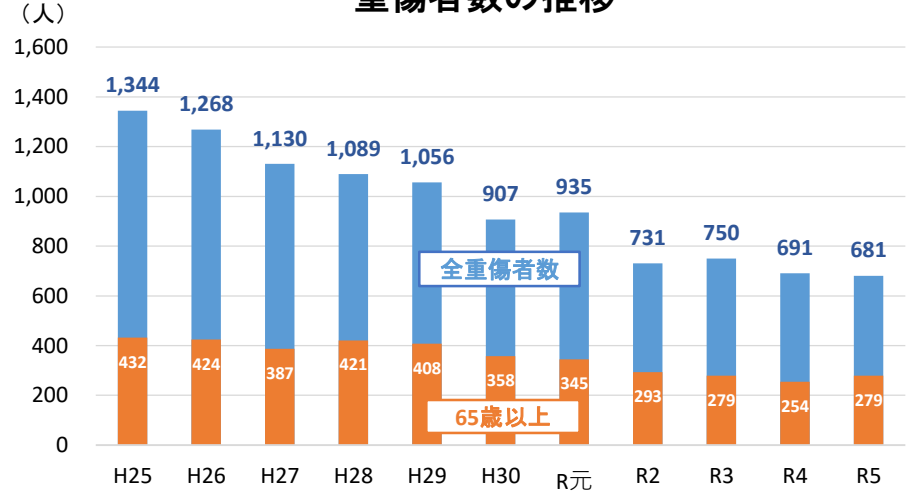
1 交通事故死者数・重傷者数の推移

- 死者数は103人で、前年比28人、37.3%増(前年に比べ増加するのは令和3年以来2年ぶり)
- 重傷者数は681人で、前年比-10人、1.4%減(令和3年から減少傾向)

死者数の推移



重傷者数の推移

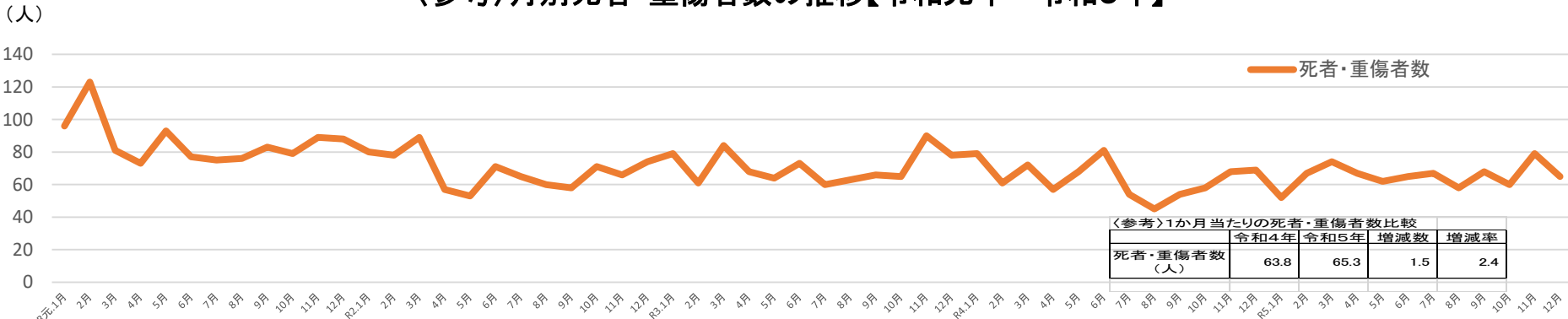


高齢者の割合	55.9%	55.8%	57.2%	53.1%	57.6%	58.8%	56.1%	58.2%	48.5%	58.7%	60.2%
高齢者の人口(千人)	1,180	1,212	1,261	1,298	1,330	1,354	1,376	1,391	1,407	1,417	—
高齢者人口率	23.3%	23.9%	24.9%	25.6%	26.3%	26.8%	27.2%	27.6%	27.9%	28.1%	—

高齢者の割合	32.1%	33.4%	34.2%	38.7%	38.6%	39.5%	36.9%	40.1%	37.2%	36.8%	41.0%
高齢者の人口(千人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高齢者人口率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 高齢者人口率とは、全人口に占める高齢者の割合をいい、人口は、各年1月1日の住民基本台帳年齢階級別人口(日本人住民)

<参考>月別死者・重傷者数の推移【令和元年～令和5年】



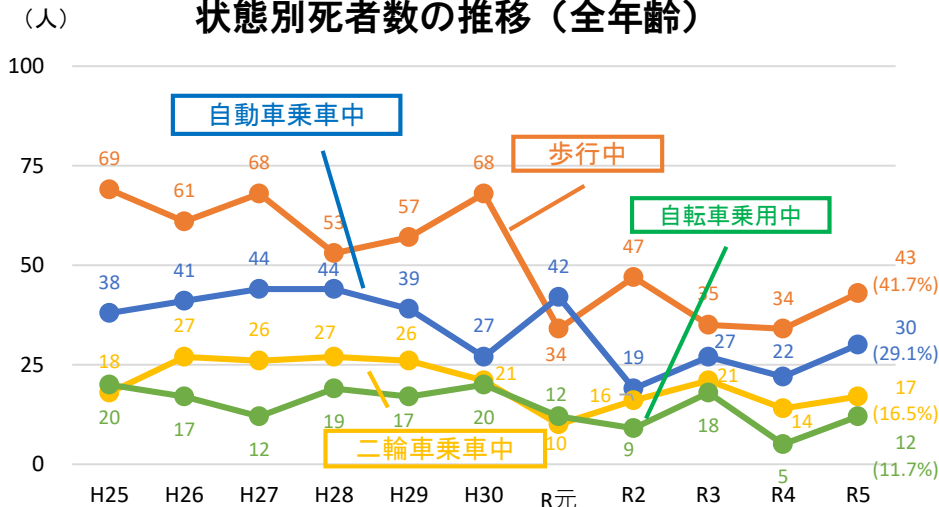
<参考>1か月当たりの死者・重傷者数比較				
	令和4年	令和5年	増減数	増減率
死者・重傷者数(人)	63.8	65.3	1.5	2.4

死者・重傷者数	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
令和元年	96	123	81	73	83	77	75	76	83	79	86	86
令和2年	80	78	89	57	53	71	65	60	58	71	66	74
令和3年	79	61	84	66	64	73	60	63	66	65	90	78
令和4年	79	61	72	57	66	81	54	45	54	58	68	69
令和5年	65	67	74	67	62	65	67	58	66	60	79	65

1-2 交通事故死者数・重傷者数の推移

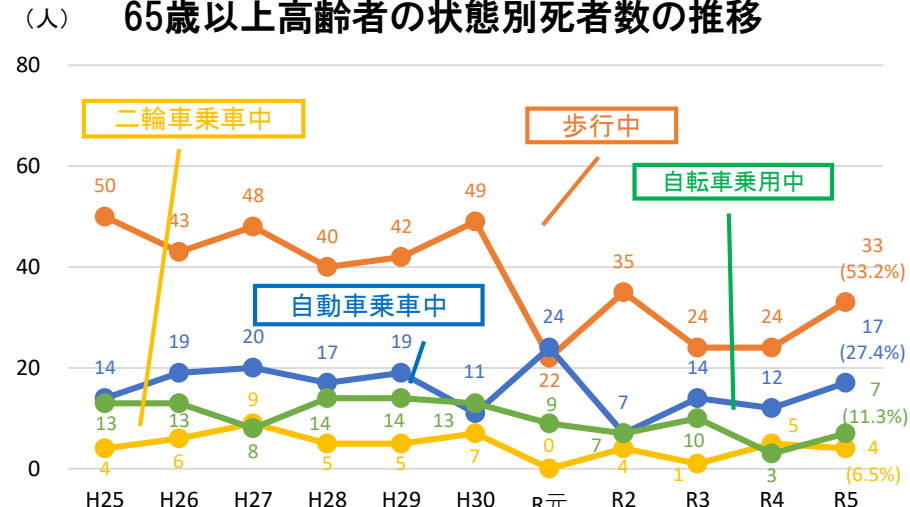
- 状態別死者数は全年齢で前年に比べ増加
- 状態別死者・重傷者数は全年齢、65歳以上ともに「歩行中」が最も多く、特に65歳以上は約半数を占める

状態別死者数の推移（全年齢）



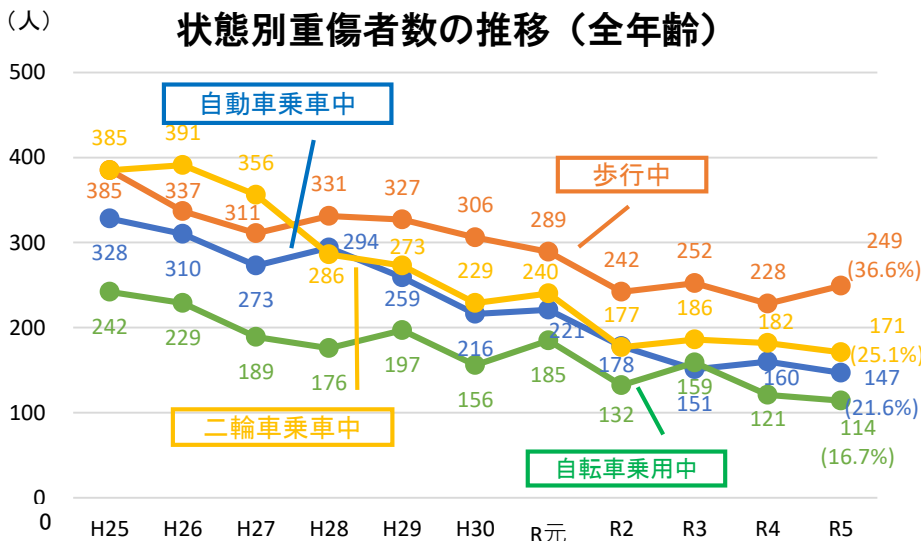
(注) ・ ()内は、65歳以上の全死者数に占める構成率

65歳以上高齢者の状態別死者数の推移



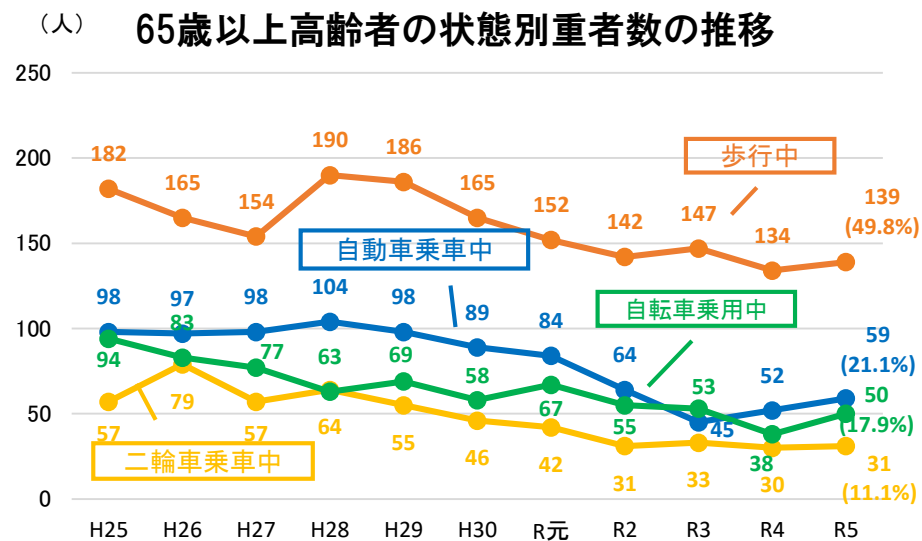
(注) ・ ()内は、65歳以上の全死者数に占める構成率

状態別重傷者数の推移（全年齢）



(注) ・ ()内は、65歳以上の全死者数に占める構成率

65歳以上高齢者の状態別重傷者数の推移

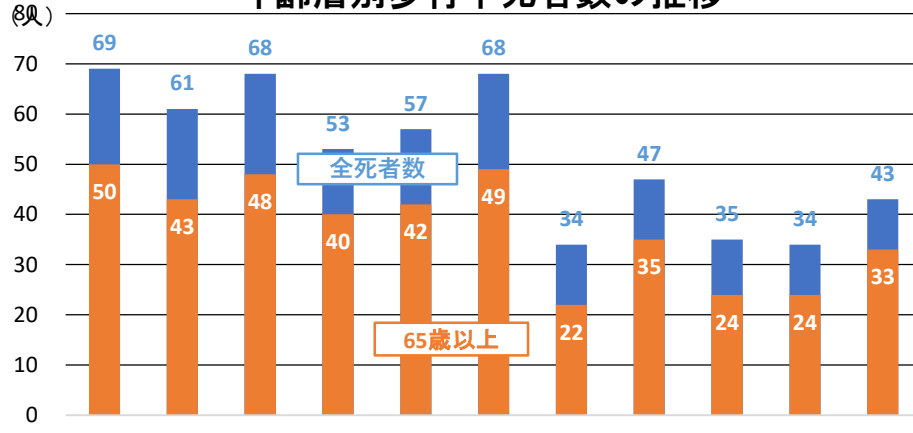


(注) ・ ()内は、65歳以上の全死者数に占める構成率

2 歩行中死者数の状況

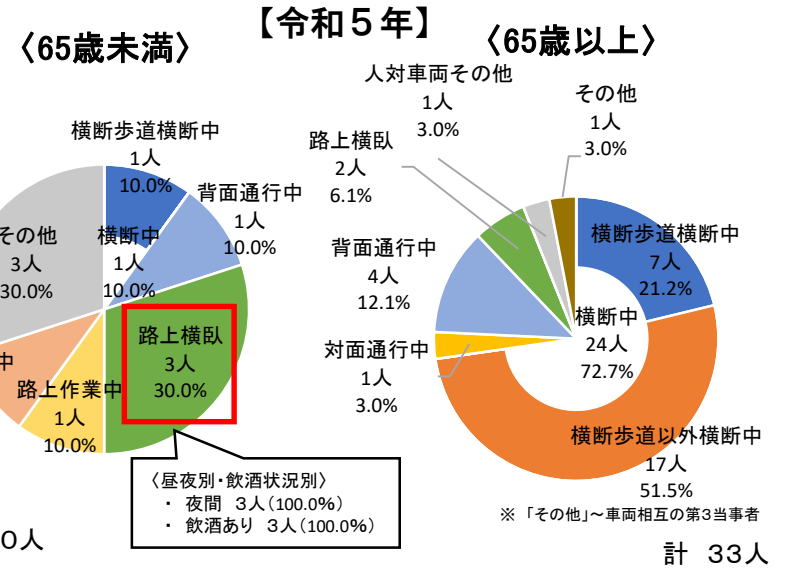
- 歩行中死者数は前年に比べ増加(うち約8割が65歳以上)
- 事故類型別では、65歳未満は「路上横臥」が多く、65歳以上は「横断歩道以外横断中」が多い

年齢層別歩行中死者数の推移



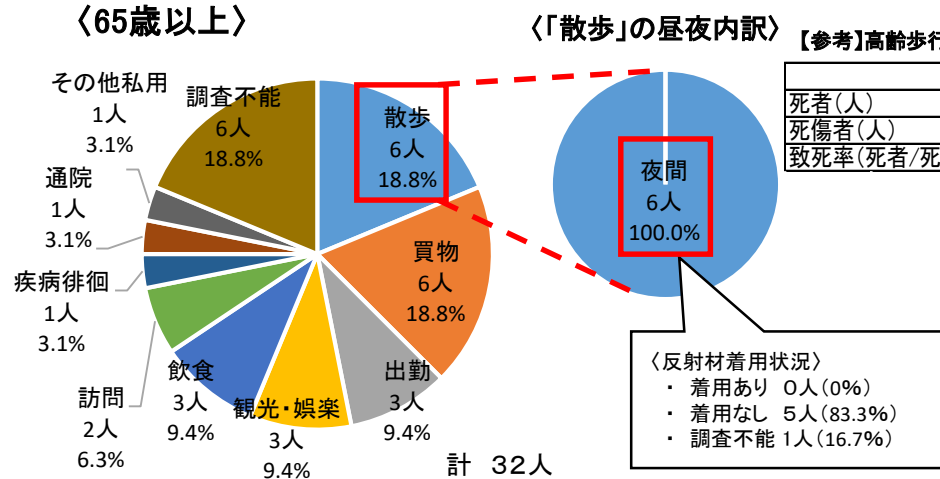
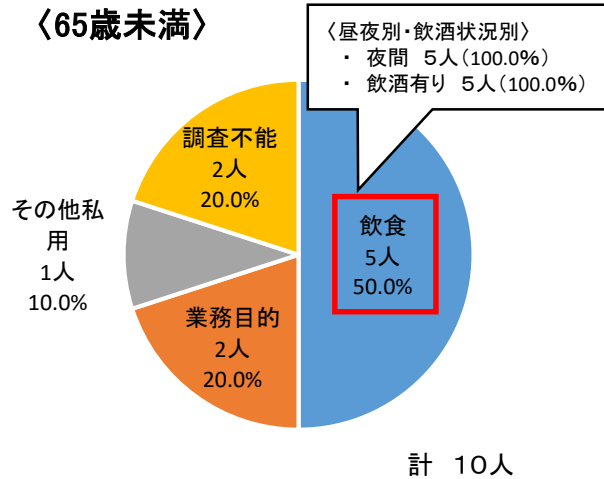
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
高齢者の割合	72.5%	70.5%	70.6%	75.5%	73.7%	72.1%	64.7%	74.5%	68.6%	70.6%	76.7%
全人口に占める高齢者の割合	23.3%	23.9%	24.9%	25.6%	26.3%	26.8%	27.2%	27.6%	27.9%	28.1%	-

年齢層別事故類型別歩行中死者数



年齢層別通行目的別歩行中死者数 (第1・第2当事者)

【令和5年】

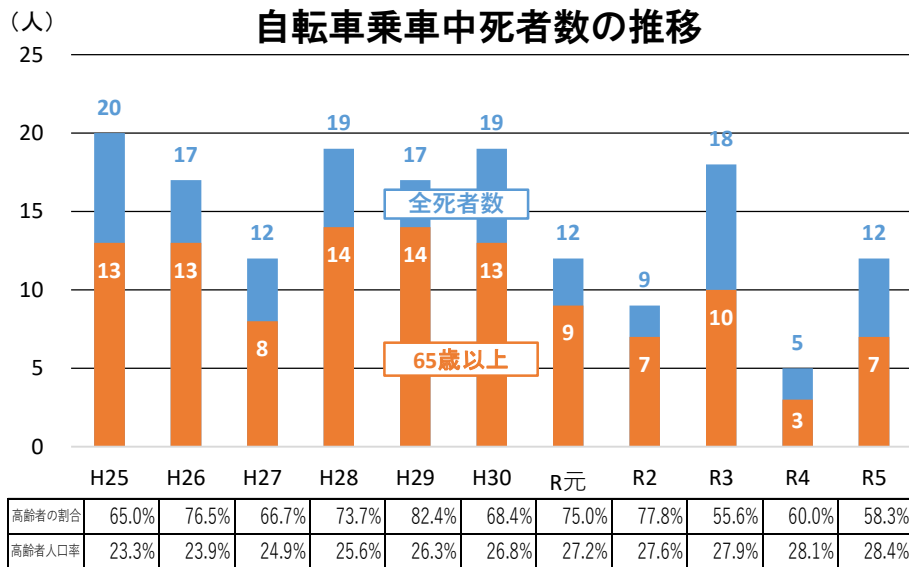


【参考】高齢歩行者「散歩」の昼夜別死傷者数

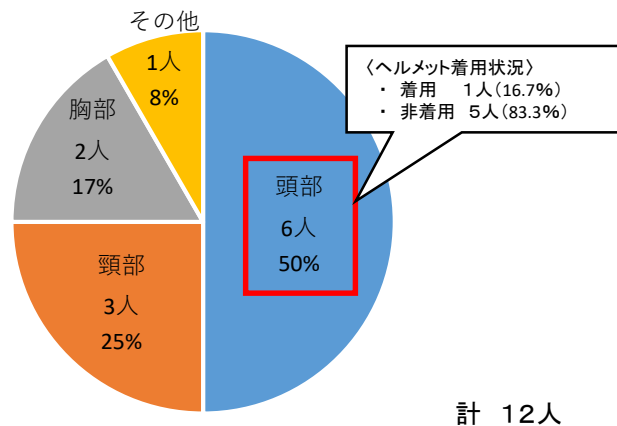
	昼間	夜間
死者(人)	0	6
死傷者(人)	34	40
致死率(死者/死傷者)(%)	0.0%	15.0%

3 自転車関連交通事故の状況

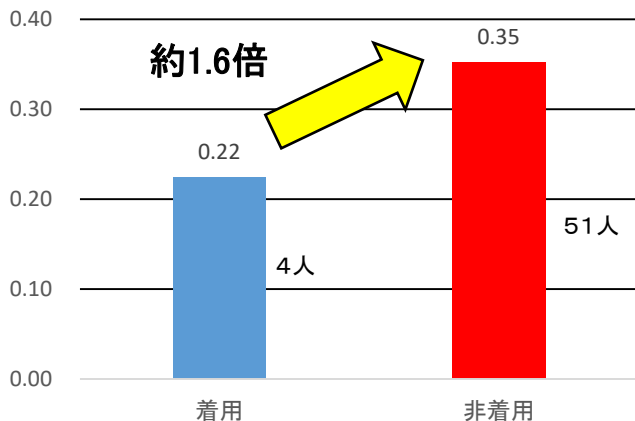
- 自転車乗用中死者の半数が「頭部」を損傷(うち約8割は乗車用ヘルメット非着用)
- ヘルメット非着用時の致死率は着用時の約1.6倍
- 令和5年7月のヘルメット着用率は10.0%



自転車乗用中における人身損傷主部位別死者数【令和5年】

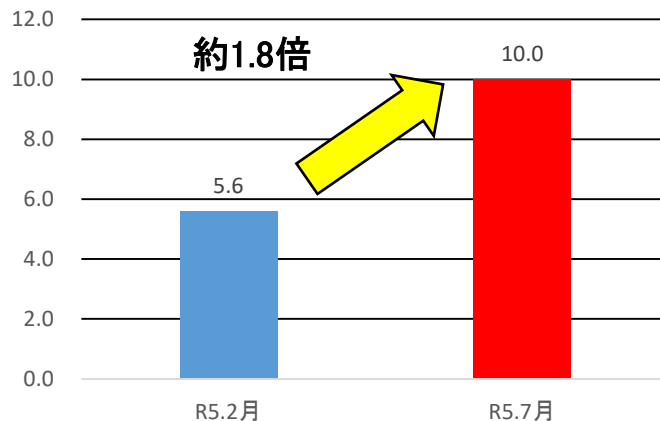


ヘルメット着用状況別の致死率比較【令和元年～令和5年】



(注) ・「致死率」とは、死傷者のうち死者の占める割合をいう。

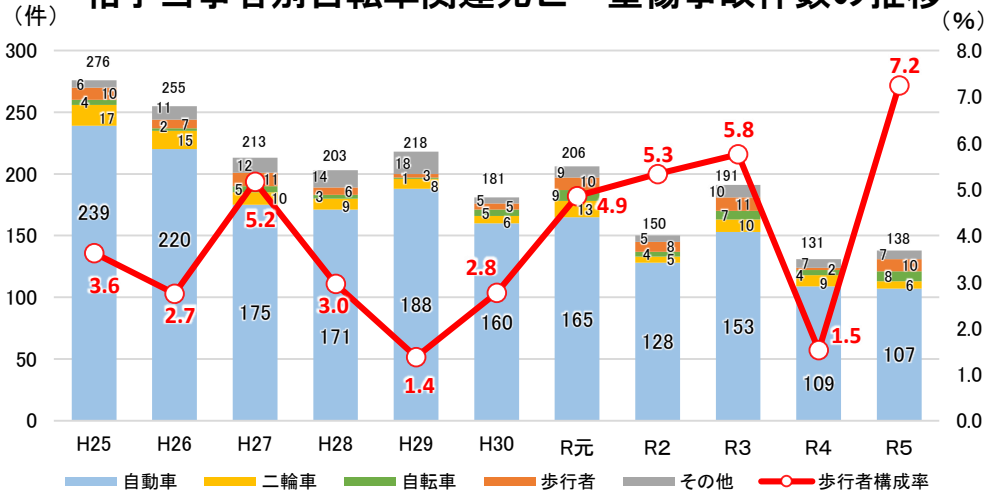
〈参考〉自転車乗車用ヘルメットの着用状況(街頭調査結果)



3-2 自転車関連交通事故の状況

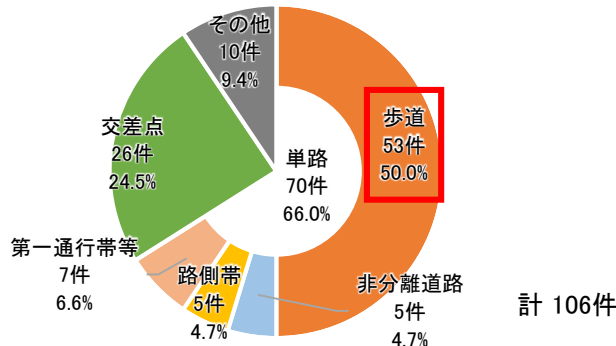
- 死亡・重傷事故に占める自転車対歩行者事故の構成率が約5倍に増加(令和4年 1.5% → 令和5年 7.2%)
 - 歩道における対歩行者事故では自転車運転者の約6割が若年層以下
- ※ 25歳未満:若年層以下の年齢を指す。

相手当事者別自転車関連死亡・重傷事故件数の推移



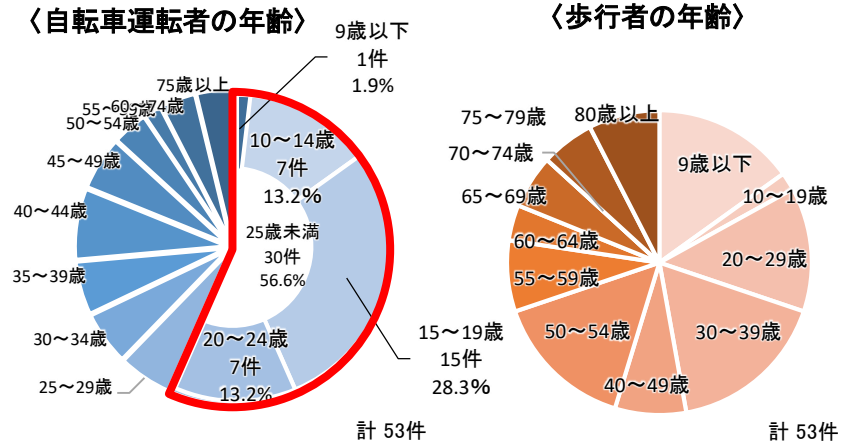
- (注) ・自転車運転者が第1又は第2当事者となった事故について、事故の相手方となった当事者別に件数を集計したもの。
 ・自転車同士の事故は、1件として計上した。
 ・歩行者構成率とは、自転車運転者が第1又は第2当事者となった事故のうち、その相手方当事者が歩行者であった割合をいう。

衝突地点別自転車対歩行者事故件数【令和5年】



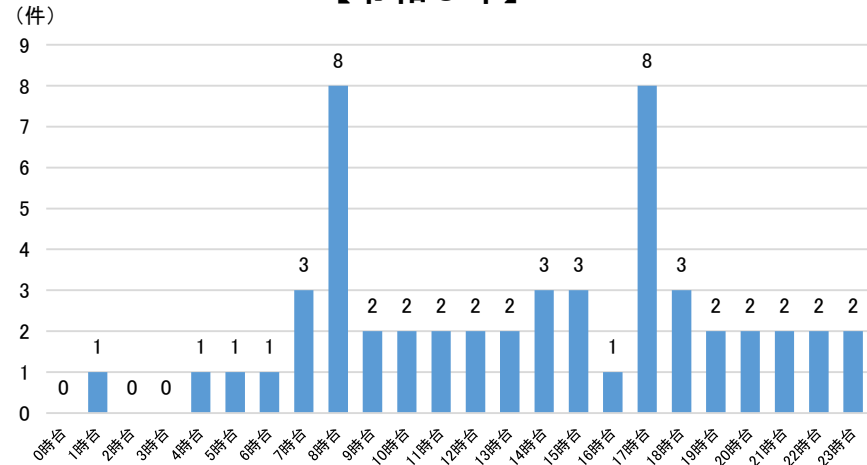
- (注) ・自転車対歩行者事故件数を計上した。以下同じ。
 ・「路側帯」とは、歩行者の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道の設けられていない道路又は道路の歩道の設けられていない側の路側寄りに道路標示（白線）によって区画された部分をいう。
 ・「非分離道路」とは、中央線等により道路の中央が定められていない道路をいう。
 ・「第一通行帯」とは、中央線等により車両通行帯の設けられている道路の最も左側の通行帯をいう。

歩道における年齢層別自転車対歩行者事故件数【令和5年】



	9歳以下	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上
自転車運転者	1	7	15	7	3	3	3	4	3	2	1	0	1	1	2	0
歩行者	8	1	0	3	4	3	6	3	1	8	4	2	3	0	3	4

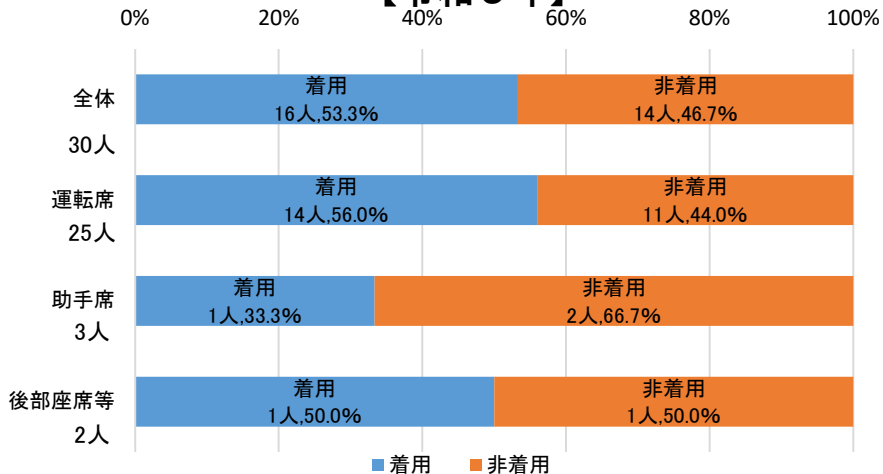
歩道における時間帯別自転車対歩行者の事故件数【令和5年】



4 自動車関連交通事故の状況

- 自動車乗車中死者の約4割がシートベルト非着用(シートベルト非着用時の致死率は約22.8倍)
- 全事故に占める携帯電話等使用による事故は近年増加傾向(約3割増で推移)

自動車乗車中死者の座席別シートベルト着用率【令和5年】



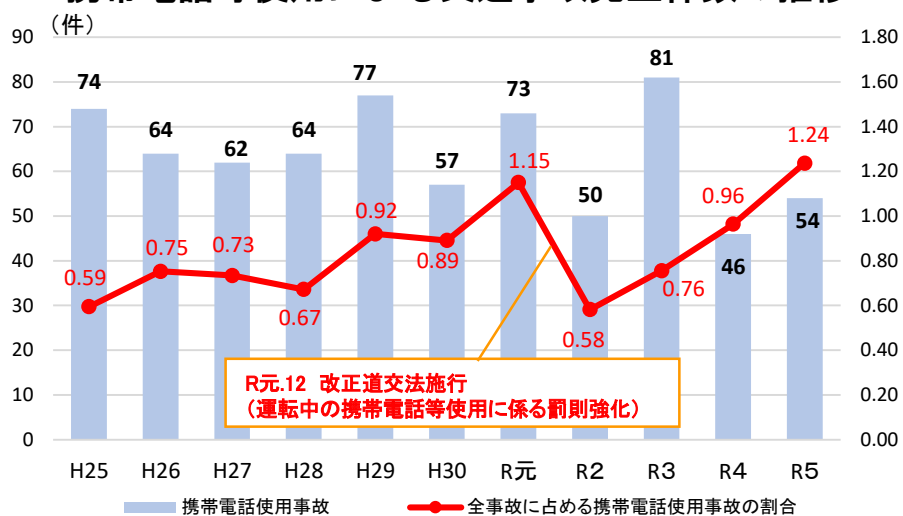
(注)・「シートベルト着用率」とは、自動車乗車中死者のうちシートベルト着用者及びチャイルドシート使用者の割合をいう。

自動車乗車中のシートベルト使用別致死率比較【令和5年】



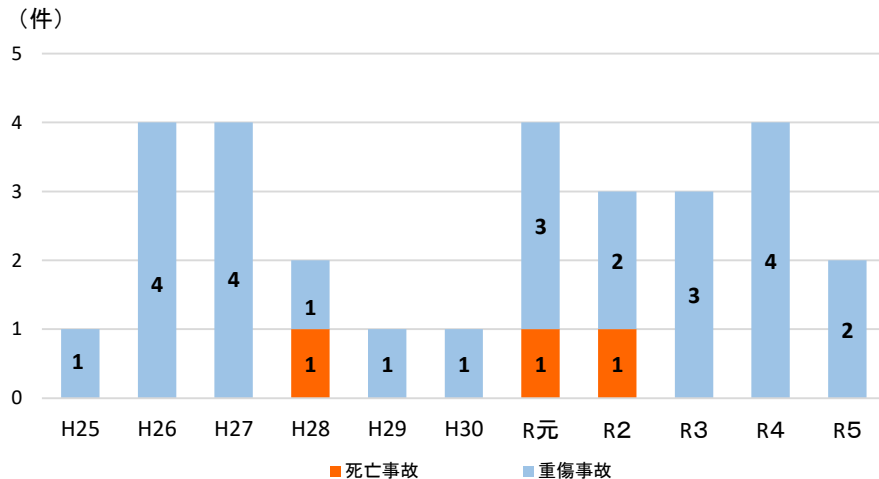
(注)・「致死率」とは、死傷者のうち死者の占める割合をいう。

携帯電話等使用による交通事故発生件数の推移



(注)・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の件数である。
・携帯電話・スマートフォンの使用(通話・画像目的)の事故を集計した。

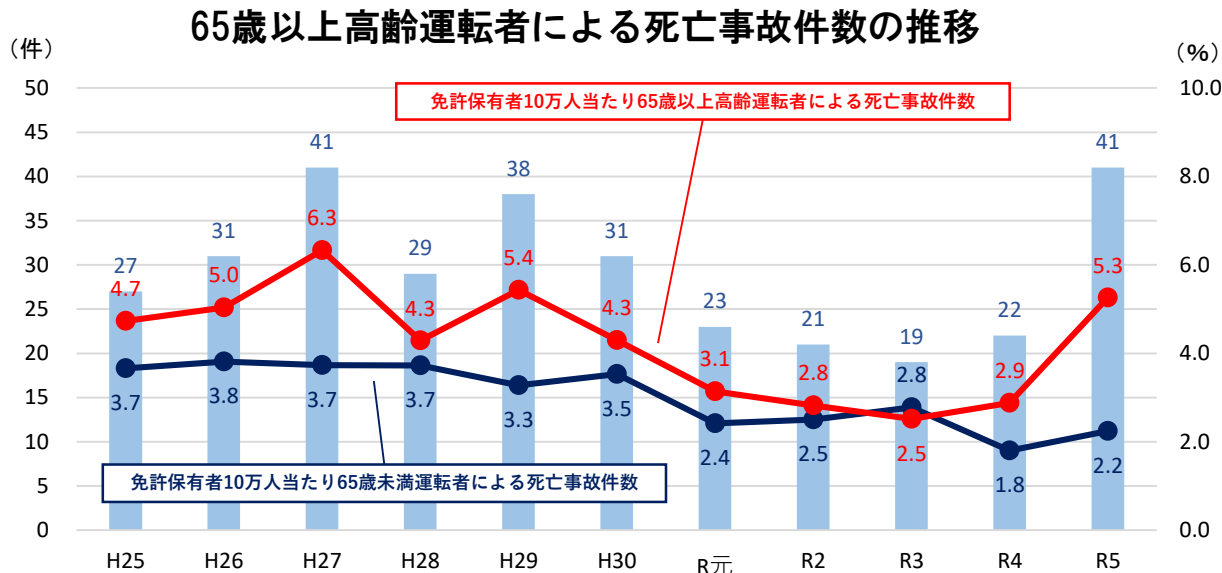
携帯電話等使用による死亡・重傷事故発生件数推移



(注)・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の件数である。
・携帯電話・スマートフォンの使用(通話・画像目的)の事故を集計した。

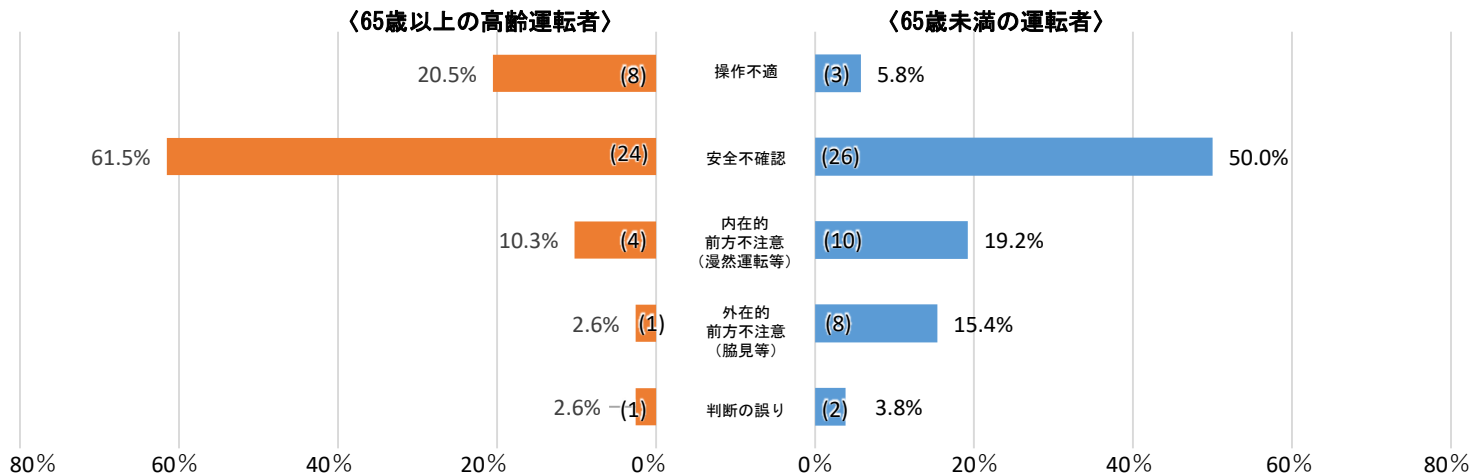
5 高齢運転者による交通死亡事故件数の推移

- 65歳以上高齢運転者による死亡事故は令和3年以降増加傾向(免許人口当たりでは65歳未満の約2.4倍の発生【令和5年中】)
- 自動車運転者による死亡事故の人的要因は、全年齢において「安全不確認」の割合が高い



(注)・第1当事者が原付以上の件数である。・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。・算出に用いた免許保有者は、各年12月末の値である。

自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較【令和5年】



死亡事故件数：39件 ※調査不能等が1件ある

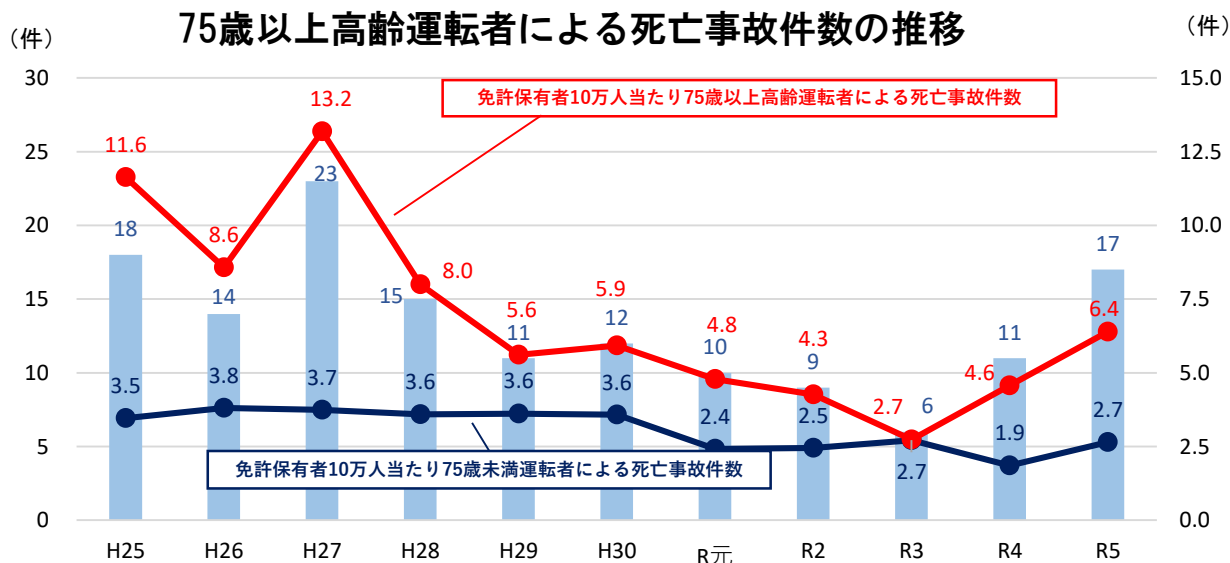
死亡事故件数：52件 ※調査不能等が3件ある

(注)・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の件数である。・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。

5-2 高齢運転者による交通死亡事故件数の推移

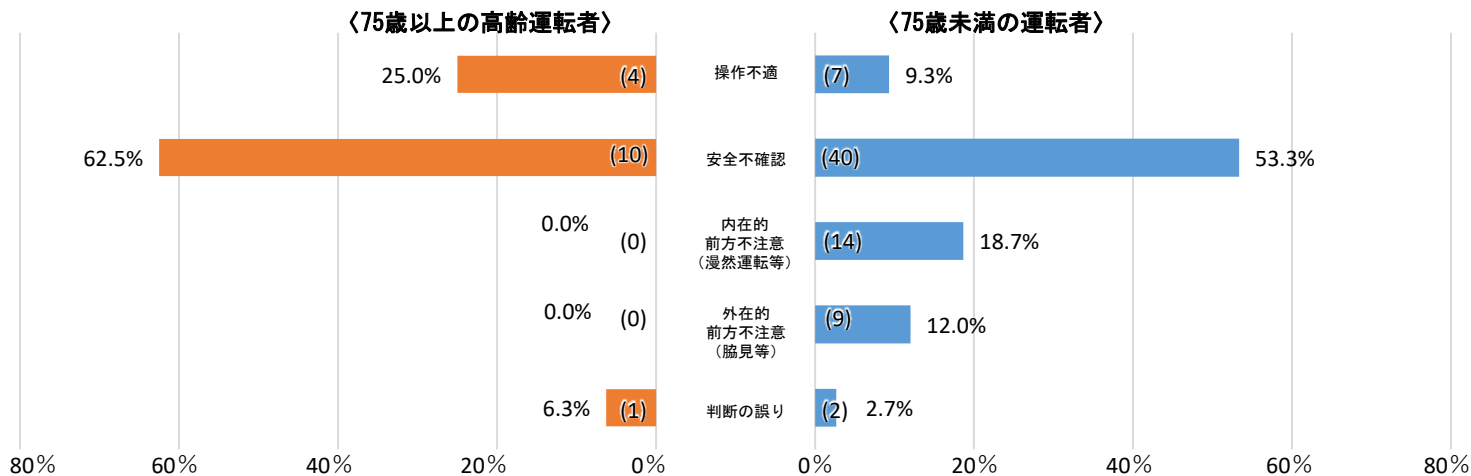
- 75歳以上高齢運転者による死亡事故は令和3年以降増加傾向(免許人口当たりでは75歳未満の約2.4倍の発生【令和5年中】)
- 自動車運転者による死亡事故の人的要因は、全年齢において「安全不確認」の割合が高い

※ 75歳以上～運転免許更新時等における認知機能検査・運転技能検査の対象年齢



(注)・第1当事者が原付以上の件数である。・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。・算出に用いた免許保有者は、各年12月末の値である。

自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較【令和5年】



死亡事故件数：16件 ※調査不能等が1件ある

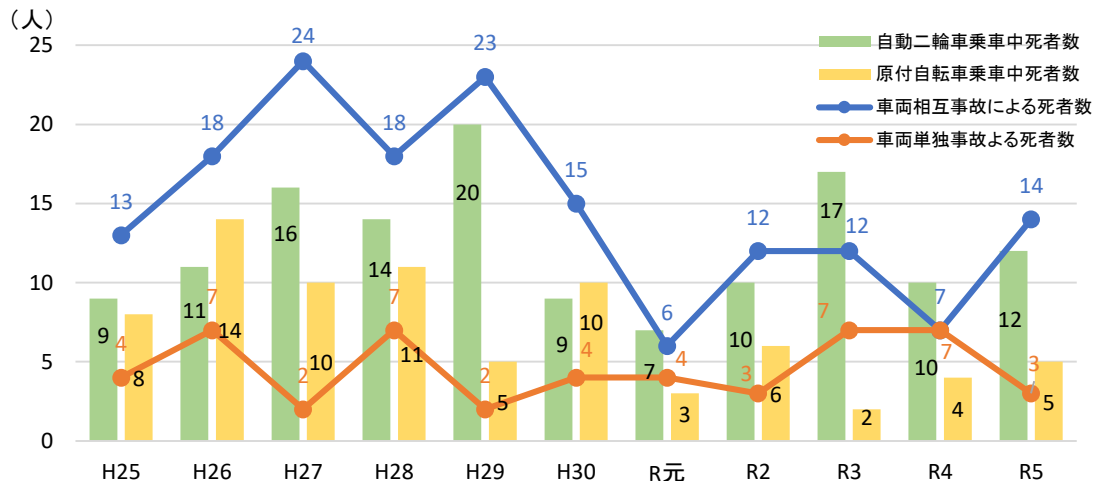
死亡事故件数：75件 ※調査不能等が3件ある

(注)・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の件数である。・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。

6 二輪車乗車中死者数の状況

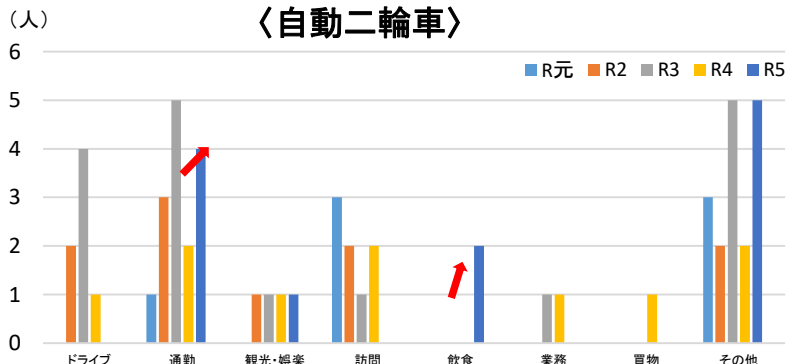
- 自動二輪車による死者数が増加(事故類型別では車両相互事故が倍増)
- 通行目的別では、自動二輪車、原付自転車ともに「通勤」及び「飲食」が増加

状態別事故類型別二輪車乗車中死者数（第1・第2当事者）の推移



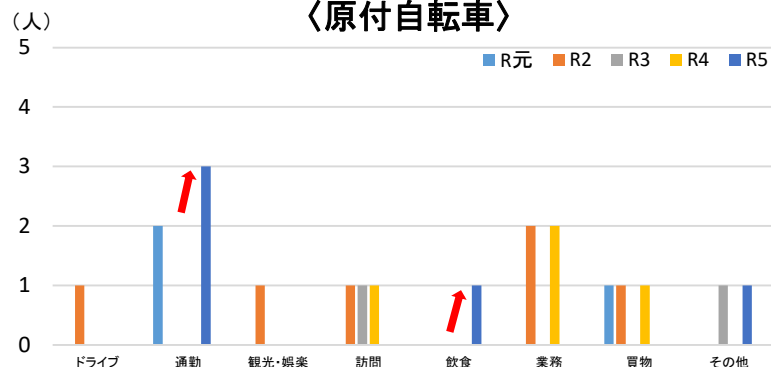
通行目的別二輪車乗車中死者数【令和元年～令和5年】

〈自動二輪車〉



	ドライブ	通勤	観光・娯楽	訪問	飲食	業務	買物	その他
R元	0	1	0	3	0	0	0	3
R2	2	3	1	2	0	0	0	2
対前年増減率	----	200.0	----	-33.3	----	----	----	-33.3
R3	4	5	1	1	0	1	0	5
対前年増減率	100.0	66.7	0.0	-50.0	----	----	----	150.0
R4	1	2	1	2	0	1	1	2
対前年増減率	-75.0	-60.0	0.0	100.0	----	0.0	----	-60.0
R5	0	4	1	0	2	0	0	5
対前年増減率	-100.0	100.0	0.0	-100.0	----	-100.0	-100.0	150.0

〈原付自転車〉

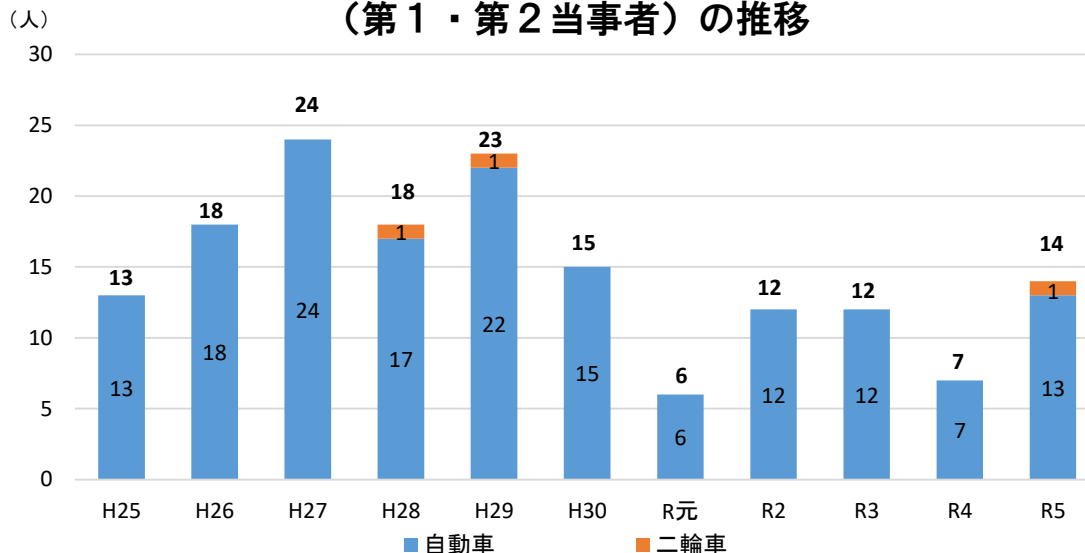


	ドライブ	通勤	観光・娯楽	訪問	飲食	業務	買物	その他
R元	0	2	0	0	0	0	1	0
R2	1	0	1	1	0	2	1	0
対前年増減率	----	-100.0	----	----	----	----	0.0	----
R3	0	0	0	1	0	0	0	1
対前年増減率	-100.0	----	-100.0	0.0	----	-100.0	-100.0	----
R4	0	0	0	1	0	2	1	0
対前年増減率	----	----	----	0.0	----	----	----	-100.0
R5	0	3	0	0	1	0	0	1
対前年増減率	----	----	----	-100.0	----	-100.0	-100.0	----

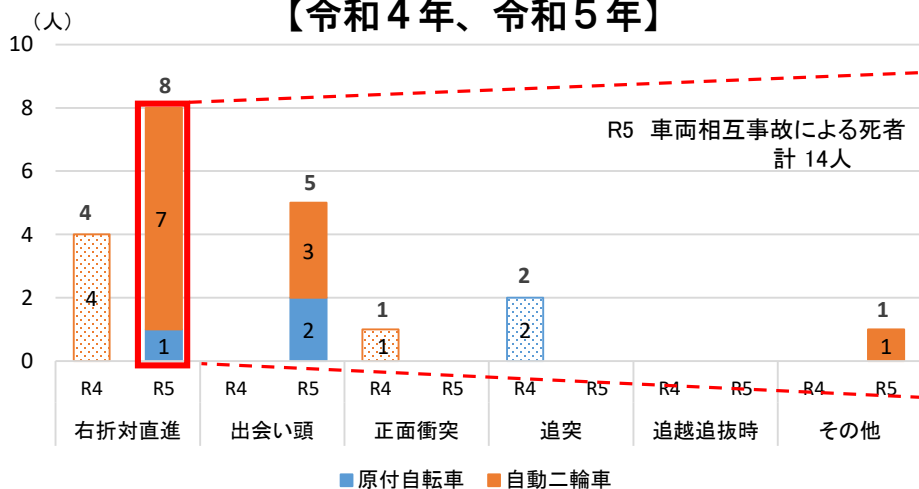
6-2 二輪車乗車中死者数の状況

- 車両相互事故における相手当事者の多くを「自動車」が占める(令和5年は92.9%)
- 事故類型別では、「右折対直進」の事故が前年比2倍に増加(うち約9割で二輪車側が直進)

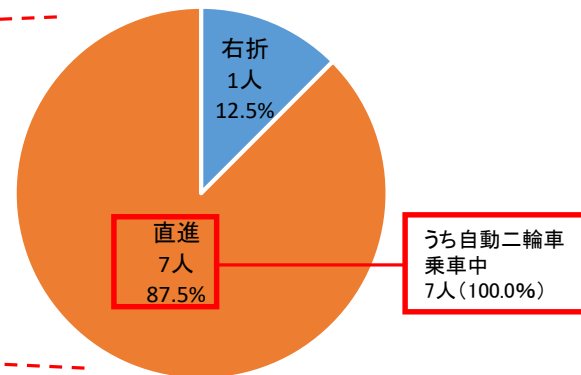
車両相互事故における相手当事者別二輪車乗車中死者数
(第1・第2当事者)の推移



車両相互事故による二輪車乗車中死者
(第1・第2当事者)の事故類型内訳
【令和4年、令和5年】



〈右折対直進事故における二輪車の行動類型〉

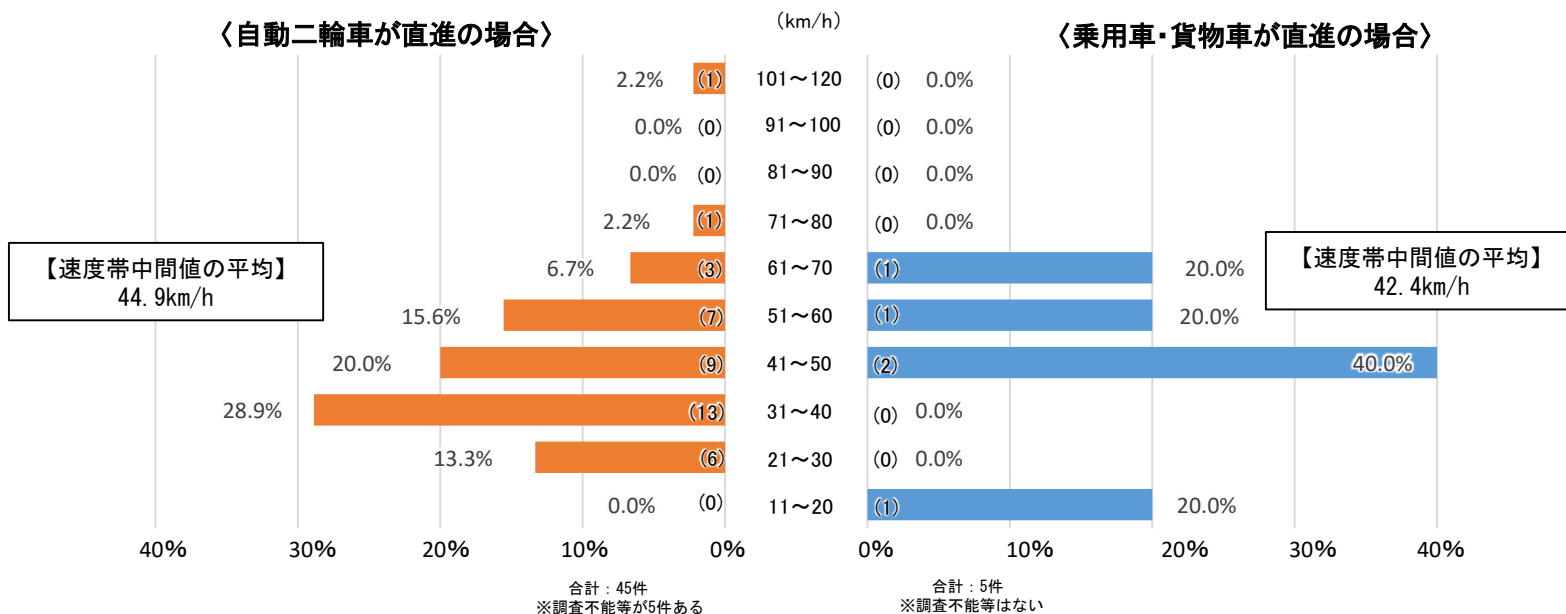


計 8人

6-3 二輪車乗車中死者数の状況

- 直進車が二輪車の場合、直進車が乗用車・貨物車の場合と比較して、二輪車の速度がやや速い傾向であり、法定速度を超える速度での危険認知は二輪車のみ
- 直進車、右折車ともに焦らず、ゆとりを持った運転を心掛けることが重要

右折対直進事故（死亡・重傷）における直進車側の危険認知速度比較【令和5年】



(注)・右折対直進の事故(死亡・重傷)のうち、自動二輪車が直進側であった事故と乗用車・貨物車が直進側であった事故について、自動二輪車と乗用車・貨物車の危険認知速度の構成率を比較した。

ポイント

直進する二輪車が気をつけること

- ・ 速度超過をせず、危険が発生した場合でも安全に停止できるように心掛けることが重要！
- ・ 対向車が右折してくるかもしれないという危険を予測した運転を心掛けることが重要！



ポイント

右折する車両が気をつけること

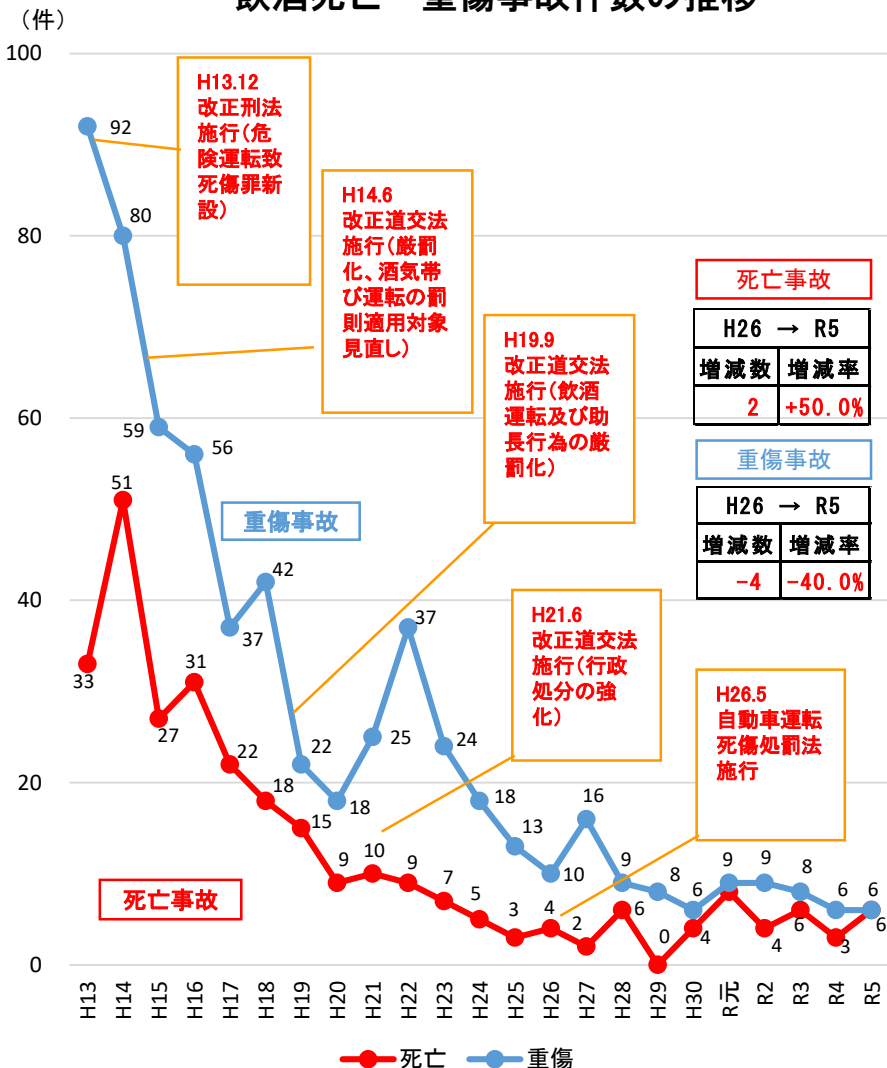
- ・ 二輪車は、実際より遠くに感じられるため、二輪車との正しい距離を把握することが重要！
- ・ 対向車両の死角から後続の二輪車が走行してくるかもしれないという危険を予測した運転を心掛けることが重要！



7 飲酒運転による交通事故の状況

- 飲酒運転による死亡事故は増加
- 通行目的別は「買物」、「ドライブ」、「業務」が増加
- 飲酒事故における死亡事故率は飲酒事故以外と比較して約14.7倍

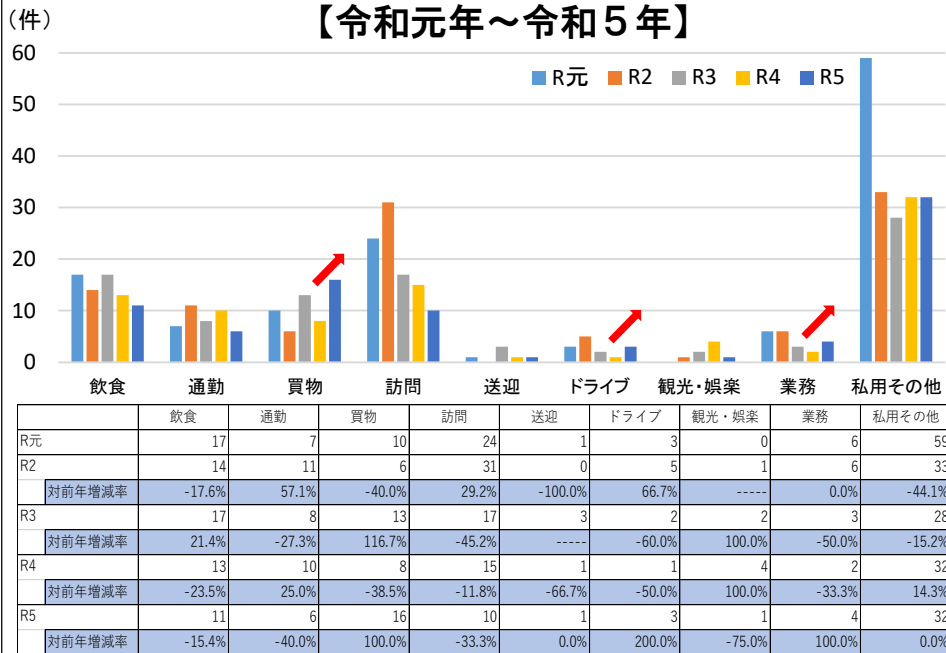
飲酒死亡・重傷事故件数の推移



死亡事故		
H26	→	R5
増減数		増減率
2		+50.0%

重傷事故		
H26	→	R5
増減数		増減率
-4		-40.0%

通行目的別飲酒運転事故件数【令和元年～令和5年】



飲酒有無別死亡事故率比較【令和5年】



(注)・第1当事者が原付以上の件数である。
 ・「飲酒死亡・重傷事故」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能のいずれかに該当する場合の死亡・重傷事故をいう。
 ・通行目的は、その目的を果たして帰る途中(復路)であっても、他に目的がない場合は往路の目的となる。
 ・「死亡事故率」とは、第1当事者が原付以上の交通事故件数に占める死亡事故件数の割合をいう。

8 【参考】特定小型原動機付自転車関連交通事故の状況(全国)

- 福岡県内における特定小型原動機付自転車に関連する交通事故の発生なし

特定小型原動機付自転車に関連する交通事故件数・死傷者数

	事故件数	死者数	負傷者数
令和5年(7月)	8	0	8
令和5年(8月)	11	0	11
令和5年(9月)	22	0	23
令和5年(10月)	19	0	19
令和5年(11月)	11	0	11
令和5年(12月)	14	0	14
合計	85	0	86

相手当事者別(令和5年7月~12月)

相手当事者 \ 月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
単独事故	4	4	9	7	4	6
四輪	1	3	5	4	5	6
歩行者	2	2	7	4	1	1
自転車	1	2	1	3	1	1
二輪	0	0	0	1	0	0
合計(件)	8	11	22	19	11	14

都道府県別(令和5年7月~12月)

発生場所 \ 月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東京都	7	9	18	16	10	11
大阪府	1	2	4	2	0	3
その他	0	0	0	1	1	0
合計(件)	8	11	22	19	11	14

(注)特定小型原動機付自転車が第1当事者又は第2当事者となった人身事故で、警察庁に報告のあった件数を集計した。